

SATOSHOJI

第87期 報告書 平成21年4月1日～平成22年3月31日

佐藤商事株式会社

Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、株主の皆様には当社グループへの格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第87期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の報告書をお届けいたします。

当社グループの業績の概況は、後記「営業の概況」の中の「平成22年3月期業績のポイント」に記載のとおりであります。売上高1,207億9千万円(前年同期比27.3%減)、経常損益は1億2千6百万円の経常損失(前年同期は26億9千9百万円の経常利益)、当期純損益は7億4千万円の純損失(前年同期は9億9千7百万円の純利益)となりました。

このような状況から、現下の企業体力、今後の収益見通し、将来の事業展開等を総合的に勘案し、期末配当につきましては誠に遺憾ながら、1株につき7円50銭とさせていただきます。

これにより、中間配当7円50銭とあわせて年間配当は1株につき15円となります。

当社グループは引き続き経費節減や内部管理体制の強化により、利益確保の実現をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

代表取締役社長

村田和夫



Review of Operations

営業の概況

>> 業績の概況および今後の展望

平成22年3月期業績のポイント

当連結会計年度の我が国経済は、下半期に入り中国・インドを中心としたアジア新興国の景気に牽引され穏やかな回復基調となりました。

一方、国内景気は、政府の景気刺激対策により自動車や家電を中心とした個人消費の増加があったものの、公共投資の減少や設備の過剰感はいまだ強く、また雇用環境も厳しい状態が続いております。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主要取引先である商用車業界や建設機械業界向け需要に第4四半期から回復が見られましたが、全体的には低位で推移したことにより、売上高は1,207億9千万円（前年同期比27.3%減）、営業損益は2億6千5百万円の営業損失（前年同期は25億4千6百万円の営業利益）、経常損益は1億2千6百万円の経常損失（前年同期は26億9千9百万円の経常利益）となり、更に金属雑貨セグメントにおける実在性の無い取引を取り消したことに伴う特別損失を7億1千万円計上したことなどにより、当期純損益は7億4千万円の純損失（前年同期は9億9千7百万円の純利益）の計上となりました。

平成23年3月期業績の展望

当社グループは、引き続き経費節減や内部管理体制の強化により、利益確保の実現をめざしてまいります。主要セグメントであ

る鉄鋼事業において鋼材価格上昇や取扱数量の増加等の影響を受けると予想されます。

次期平成23年3月期の連結業績予想につきましては、売上高1,480億円、営業利益20億円、経常利益21億5千万円、当期純利益は13億5千万円を見込んでおります。

設備投資

設備投資につきましては将来にむけた設備投資と商社としてふさわしい職場環境の整備の二つの視点から進めております。

第87期は、名古屋支店倉庫移転、本社移転、福島支店（郡山）土地取得等、約15億円の設備投資を実施しました。

第88期は、福島支店（郡山）倉庫増設・機械設置等、約12億円を予定しております。

事業の拡大・効率化を目的とした設備投資を継続し、これによる業績向上を通じて株主の皆様への還元を図ってまいります。

>> 経営方針

会社の経営の基本方針

当社は、「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」ことを基本方針としております。

Review of Operations

営業の概況

社内の管理体制

当社はあらゆる企業活動において法令を遵守し、内部管理体制を一層強化して透明性の高い経営体制の構築をしております。

- 多額の取引や国内外の新会社の設立、既存会社への投資については「与信投資委員会」での検討を踏まえた上で審査を実施するようにしています。
- 入社式、社内研修、社内報等あらゆる機会を通じて、法令遵守の徹底、管理の大切さを説いています。
- コンプライアンス体制強化に向けた取り組みの一環として「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス経営実現のため議論を重ねています。
- 必要な情報が確実に報告、連絡、相談される風通しの良い会社作りをめざしています。

当社がめざしている会社像

当社は80年の歴史と伝統を大切にしながら、常にチャレンジ精神をもって、変化、革新を続ける会社です。

今後も、株主様をはじめ、お取引様、地域の皆様、OB・OGの皆様、社員ほかすべての関係者を大切に、社会に貢献できる会社をめざしています。

中長期的な経営戦略

情報技術の発展やグローバル化の進展などにより、産業構造も含め、急速なスピードで事業環境の変化が進んでおります。その

なかで、当社は安定的に収益を向上させるべく、「多様なユーザーの要望に応じて、よりよい商品をより速く、安定価格にて提供する」ことを基本に、「国内及び海外の新規販路拡大」「新商品の拡販」「収益率の向上」「財務体質の強化」を目標として掲げております。

現在、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、金属雑貨、機械・工具の各事業が、国内及び海外で営業を展開するなか、国内に向けては、地域経済に密着した営業体制の強化と全社的な情報共有による迅速なサービス体制の確立をめざし、一層の販路拡大に努めるとともに、営業開発部を基点に新商品販売等の取り組みを行っております。加えて、国内事業推進を効率的に支援するために、支店の新設及び統廃合、設備の更新を積極的に展開しております。

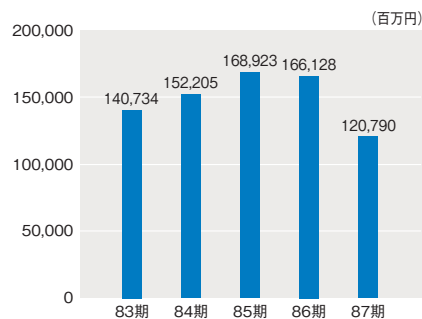
また、海外に向けては、中国・東南アジア地域への販売体制強化戦略として平成16年4月に香港に現地法人を設立したのを皮切りに、現在までにタイ王国に現地法人1社、合弁会社1社、中国に現地法人2社、ベトナムに現地法人1社を設立、投資しております。

今後もグループ一丸となって、国内及び海外の販売強化による、販路のグローバル展開を推進していく所存です。

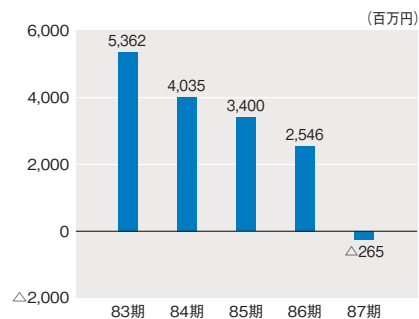
Financial Highlights

財務ハイライト(連結)

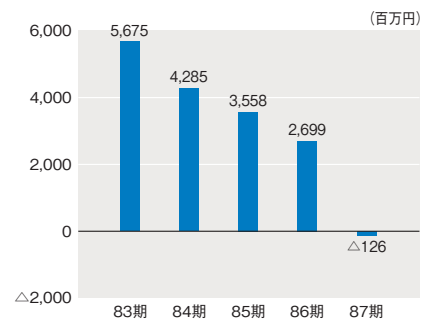
■ 売上高



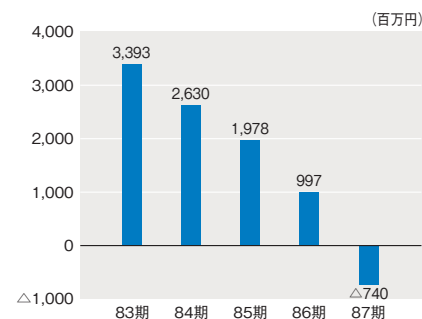
■ 営業利益又は営業損失



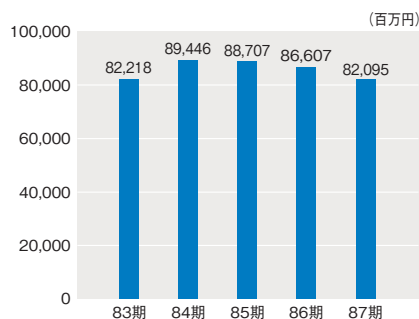
■ 経常利益又は経常損失



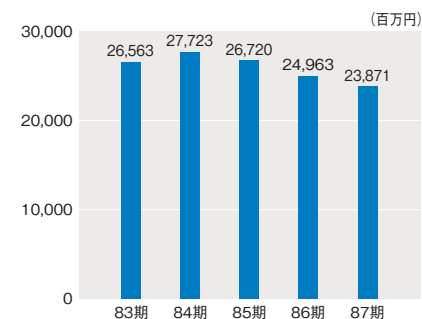
■ 当期純利益又は純損失



■ 総資産



■ 純資産



(単位/百万円)

	83期	84期	85期	86期	87期
売上高	140,734	152,205	168,923	166,128	120,790
営業利益 (△は損失)	5,362	4,035	3,400	2,546	△265
経常利益 (△は損失)	5,675	4,285	3,558	2,699	△126
当期純利益 (△は損失)	3,393	2,630	1,978	997	△740
総資産	82,218	89,446	88,707	86,607	82,095
純資産	26,563	27,723	26,720	24,963	23,871

Segment Review

事業の内容

当社グループは、鉄鋼、非鉄金属、電子材料、金属雑貨、機械・工具の5部門の事業を主として行っております。各セグメントにおける主要製品及び、当期における概況についてご報告します。



売上高構成比率

64.7%

▶ 鉄 鋼

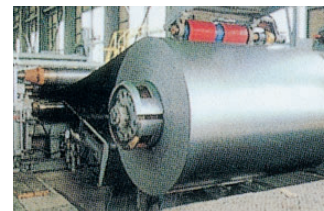
事業概況

当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、熱延鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建設機械、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は、倉庫を所有し、切断などの一次加工も行い、福島(郡山)、栃木、神奈川の各支店にはコイルセンターが存在します。

当期の概況

主力の商用車業界及び建設機械業界の国内販売数量が減少したことにより、同事業の売上高は781億4千6百万円(前年同期比32.5%減)となりました。



売上高構成比率

10.6%

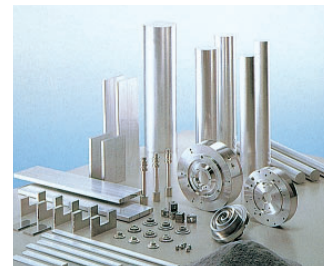
▶ 非鉄金属

事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛などの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。また、アルミセンターにて、アルミ板の切断などの一次加工を行い販売しております。

当期の概況

販売数量の減少及びアルミ地金等の価格下落の影響が大きく、同事業の売上高は127億5千5百万円(前年同期比33.9%減)となりました。





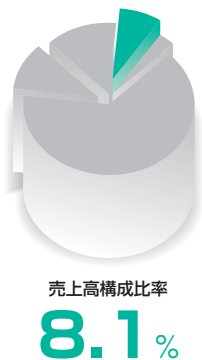
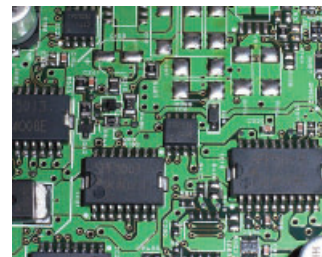
▶ 電子材料

事業概況

当事業においては、電子機器、電器製品に使用されるプリント配線基板用の積層板など電子材料を電器業界に販売しております。

当期の概況

内外の景気刺激対策等の効果でデジタル家電業界等の生産が回復基調となり、主力のプリント配線基板用積層板等の販売が堅調に推移した結果、同事業の売上高は166億8千万円(前年同期比7.2%増)となりました。



▶ 金属雑貨

事業概況

当事業においては、ナイフ・フォークなどの金属洋食器、陶磁器、またインテリア用品、貴金属などの製品を、主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。またSP(セールスプロモーション)商品の販売や、輸入カラオケマイク等の商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

当期の概況

通販・テレビショッピングが堅調に推移したこと等により、同事業の売上高は97億7千2百万円(前年同期比3.5%増)となりました。



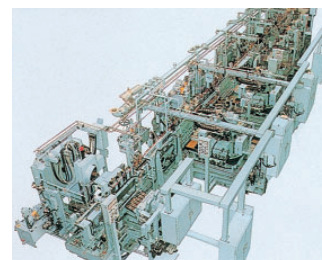
▶ 機械・工具

事業概況

当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンターなどの工作機械及び工場生産ライン一式、及び切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

当期の概況

引き続き設備投資の低迷により、同事業の売上高は、34億3千4百万円(前年同期比43.2%減)となりました。



01 環境問題への取り組みについて

環境問題をソリューションする

当社は、地球環境問題へ積極的な取り組みを行うため、平成22年3月に本社部門においてISO14001の認証を取得しました。営業開発部及び環境ソリューション部では、独自の技術を保有するメーカーと地球環境への負荷軽減を目的とした製品・サービスを提供するため、積極的に環境問題関連の展示会へ出展しております。

第6回エコプロダクツ国際展(インドネシア)への出展

当社営業開発部及び環境ソリューション部では、平成22年3月4～7日までの4日間、ジャカルタ(インドネシア)で開催されました“第6回エコプロダクツ国際展”に出展いたしました。「緑の生産性—競争力強化を目指して」の展示会テーマのもと、当社では、薬品洗浄

の必要のない、水だけで配管洗浄できる酸化還元装置「アンチラスター」、フィルター産廃発生ゼロの「フィルスター」、非食用植物油を改質する簡易バイオ燃料生成装置「エコプロ」をアジア諸国の経済成長に伴う地球環境への負荷軽減に貢献する製品として、ご紹介させていただきました。

入場者数も4日間で約90,000人と過去最高となりました。当社展示ブースにおきましても、政府機関の方々や、環境問題への取り組みを積極的に行っている現地企業様及び日系企業様に多くお越しいただきました。



02 | 直営ショップSAYA六本木店・梅田店 ご好評いただいております。

当社の直営ショップ「SAYA」は“使いやすく美しい、暮らしの道具”をテーマにしたキッチン&テーブルウエアのセレクトショップです。

日本の工業デザイナーの第一人者である、柳宗理氏がデザインした商品を中心に展開しております。テレビや雑誌などでも紹介され、大変ご好評いただいております。

お近くにお寄りの際は是非お越しください。

SAYA 六本木店

東京都港区赤坂9-7-4 D-0308 東京ミッドタウン ガレリア3階
Tel. & Fax. 03-5413-0709
オープン時間: 毎日11時00分～21時00分(1月1日休日)

SAYA 梅田店

大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスPLAZA ENT 2階
Tel. & Fax. 06-4797-3721
オープン時間: 毎日11時00分～20時00分(定休日/不定休)



手におさまる、
暮らしの道具をさがす店。



03 | 通販サイト「サトーダイレクト」 インターネットでのご注文を承っております。

自社商品をはじめ当社が提供する商品を、インターネットを通じてご購入いただける通販サイト「サトーダイレクト」を運営いたしております。食器・キッチン用品をはじめ、お中元・お歳暮・食品・家電など、様々な商品を販売しております。是非一度ご覧ください。

サトーダイレクト 検索

<http://www.sato-direct.jp/shop/>



SATO-DIRECT サトーダイレクト

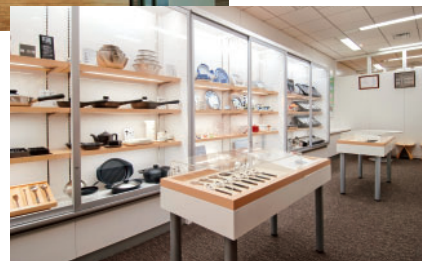
Network

ネットワーク

■ 本社移転のお知らせ

平成22年2月15日、本社を東京都中央区八丁堀から同千代田区丸の内に移転いたしました。

移転先となった丸の内トラストタワーN館は東京駅日本橋口から徒歩1分の好立地です。旧本社ビルでは複数階に分かれていたフロアを1フロアに集約化することにより更なる業務の効率化を図りました。16階の正面受付のショールームにはライフ営業部門取り扱いの柳宗理シリーズ、北欧デザインブランドDANSK、マーシャンブランドの金属洋食器等を陳列、ご紹介しております。



【所在地・連絡先】

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311

事業所

- | | | | | |
|-----------|--------------|-------------|------------|-----------|
| ■ 苫小牧支店 | ■ 福島支店 | ■ 新潟流通センター | ■ 西アルミセンター | ■ 四国支店 |
| ■ 札幌ライフ支店 | ■ 福島支店(郡山) | ■ 北越支店 | ■ 大阪支店 | ■ 北九州支店 |
| ■ 岩手支店 | ■ 茨城支店 | ■ 富山支店 | ■ 大阪ライフ支店 | ■ 福岡ライフ支店 |
| ■ 東北支店 | ■ 栃木支店 | ■ 長野支店 | ■ 兵庫支店 | ■ 九州支店 |
| ■ 仙台支店 | ■ 太田支店 | ■ 浜松支店 | ■ 岡山支店 | ■ 熊本支店 |
| ■ 秋田支店 | ■ 埼玉支店 | ■ 名古屋支店 | ■ 岡山鋼材センター | |
| ■ 大館支店 | ■ 神奈川支店 | ■ 名古屋鋼材センター | ■ 福山支店 | |
| ■ 鶴岡支店 | ■ 新潟支店 | ■ 名古屋ライフ支店 | ■ 広島支店 | |
| ■ 山形支店 | ■ 新潟支店(東港倉庫) | ■ 滋賀支店 | ■ 広島ライフ支店 | |

海外

- インドネシア駐在員事務所

● 新しいロゴマークを策定しました ●

当社では、本社事務所移転を機にロゴマークを新しく策定いたしました。

英文ロゴマークは遠目からも認識できるシンプルなアルファベットで構成し、誰からも分かりやすく、親しみを持っていただくようにしました。「J」の文字は意図的にはみ出させてアクセントをつけ、枠にとらわれない当社の姿勢を表し、堅実さだけではなく柔軟さも持ち合わせた会社になりたいとの願いを込めています。

和文ロゴマークはしっかりとしたゴシック体を基調とした分かりやすい書体で当社の信頼性を表現しました。

■ 英文ロゴマーク

SATOSHOJI

■ 和文ロゴマーク

佐藤商事株式会社

■ 愛知県小牧市に「名古屋鋼材センター」を新設

東海地区の新たな鋼材物流の核拠点として、平成22年4月愛知県小牧市に名古屋鋼材センターを新設いたしました。敷地面積1万2,540平方メートルに建屋5,300平方メートル。在庫品種は、特殊鋼丸棒中心に、鋼板、非鉄金属、化成品などの全品種をそろえ、加工機能も併せ持ちます。名古屋鋼材センターの開設により、今まで以上にユーザーへの迅速な対応が可能となります。今後も幅広くユーザーのニーズに応えてまいります。



■ 海外事業強化のため、ベトナムに現地法人設立

平成22年3月、SATO-SHOJI (VIETNAM) CO., LTD. をベトナム・ホーチミン市に設立しました。この度設立の子会社は中国とアセアン諸国の二つの巨大市場を繋ぐ重要な役割を担い、東南アジア全体への取引拡大を目指します。

当面は非鉄金属、鉄鋼材料、自動車部品、バルブ等の輸出入を行います。将来的にはベトナムの新規商材を日本向けに営業展開したいと考えております。



関連会社

- メタルアクト株式会社
- 日本洋食器株式会社
- エヌケーテック株式会社
- 佐藤物流株式会社
- 植木鋼管株式会社

- 佐藤ゼネテック株式会社
- 関根鋼材株式会社
- 湘南加工株式会社
- 香港佐藤商事有限公司
- SATO-SHOJI (THAILAND) CO., LTD.

- 上海佐商貿易有限公司
- 牡丹江佐商工貿有限公司
- SATO-SHOJI (VIETNAM) CO., LTD.
- 山形クラッチ株式会社
- ネボン株式会社

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	57,414	67,558
固定資産	24,680	19,048
有形固定資産	13,213	11,499
無形固定資産	197	295
投資その他の資産	11,268	7,253
資産合計	82,095	86,607
(負債の部)		
流動負債	48,238	54,845
固定負債	9,985	6,799
負債合計	58,224	61,644
(純資産の部)		
株主資本	21,517	23,762
資本金	1,319	1,319
資本剰余金	880	881
利益剰余金	19,319	21,601
自己株式	△ 1	△ 39
評価・換算差額等	2,195	1,163
その他有価証券評価差額金	2,248	1,197
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△ 52	△ 34
少数株主持分	157	36
純資産合計	23,871	24,963
負債純資産合計	82,095	86,607

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	120,790	166,128
売上原価	113,527	153,808
売上総利益	7,263	12,320
販売費及び一般管理費	7,528	9,774
営業利益又は営業損失(△)	△ 265	2,546
営業外収益	603	694
営業外費用	464	540
経常利益又は経常損失(△)	△ 126	2,699
特別利益	1,202	326
特別損失	1,017	962
税金等調整前当期純利益	58	2,062
法人税、住民税及び事業税	401	1,009
法人税等調整額	400	56
少数株主損失(△)	△ 2	△ 0
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 740	997

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,579	△ 11,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,090	△ 3,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,869	15,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	17
現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△ 1,379	1,086
現金及び現金同等物の期首残高	3,896	2,809
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	209	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,726	3,896

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	1,319	1,319
当期末残高	1,319	1,319
資本剰余金		
前期末残高	881	881
当期変動額		
自己株式の処分	△ 0	0
当期変動額合計	△ 0	0
当期末残高	880	881
利益剰余金		
前期末残高	21,601	21,255
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益	△ 740	997
自己株式の処分	△ 0	－
連結範囲の変動	△ 1,050	－
当期変動額合計	△ 2,281	345
当期末残高	19,319	21,601
自己株式		
前期末残高	△ 39	△ 38
当期変動額		
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	37	0
当期変動額合計	37	△ 0
当期末残高	△ 1	△ 39
株主資本合計		
前期末残高	23,762	23,417
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益	△ 740	997
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	35	0
連結範囲の変動	△ 1,050	－
当期変動額合計	△ 2,245	345
当期末残高	21,517	23,762

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前連結会計年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
評価・換算差額等		
前期末残高	1,163	3,264
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,032	△ 2,100
当期変動額合計	1,032	△ 2,100
当期末残高	2,195	1,163
少数株主持分		
前期末残高	36	38
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	120	△ 2
当期変動額合計	120	△ 2
当期末残高	157	36
純資産合計		
前期末残高	24,963	26,720
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益	△ 740	997
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	35	0
連結範囲の変動	△ 1,050	－
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,152	△ 2,102
当期変動額合計	△ 1,092	△ 1,757
当期末残高	23,871	24,963

Non-Consolidated Financial Statements

単体財務諸表(要旨)

単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当事業年度末 (平成22年3月31日現在)	前事業年度末 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	54,348	64,442
固定資産	24,680	19,300
有形固定資産	11,311	10,963
無形固定資産	183	281
投資その他の資産	13,184	8,055
資産合計	79,028	83,742
(負債の部)		
流動負債	46,051	53,566
固定負債	9,051	6,678
負債合計	55,102	60,245
(純資産の部)		
株主資本	21,677	22,249
資本金	1,319	1,319
資本剰余金	787	788
利益剰余金	19,571	20,180
自己株式	△ 1	△ 39
評価・換算差額等	2,248	1,248
その他有価証券評価差額金	2,247	1,247
繰延ヘッジ損益	0	1
純資産合計	23,925	23,497
負債純資産合計	79,028	83,742

単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前事業年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	113,464	159,331
売上原価	106,461	148,024
売上総利益	7,003	11,307
販売費及び一般管理費	7,213	9,088
営業利益又は営業損失(△)	△ 209	2,219
営業外収益	806	986
営業外費用	444	489
経常利益	153	2,716
特別利益	1,417	326
特別損失	979	903
税引前当期純利益	591	2,139
法人税、住民税及び事業税	337	897
法人税等調整額	372	56
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 118	1,185

単体株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	前事業年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	1,319	1,319
当期末残高	1,319	1,319
資本剰余金		
前期末残高	788	788
当期変動額		
自己株式の処分	△ 0	0
当期変動額合計	△ 0	0
当期末残高	787	788
利益剰余金		
前期末残高	20,180	19,646
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 118	1,185
当期変動額合計	△ 608	533
当期末残高	19,572	20,180
自己株式		
前期末残高	△ 39	△ 38
当期変動額		
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	37	0
当期変動額合計	37	△ 0
当期末残高	△ 1	△ 39
株主資本合計		
前期末残高	22,249	21,715
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 118	1,185
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	35	0
当期変動額合計	△ 572	533
当期末残高	21,677	22,249
評価・換算差額等		
前期末残高	1,248	3,315
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,000	△ 2,067
当期変動額合計	1,000	△ 2,067
当期末残高	2,248	1,248
純資産合計		
前期末残高	23,497	25,031
当期変動額		
剰余金の配当	△ 489	△ 651
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 118	1,185
自己株式の取得	△ 0	△ 0
自己株式の処分	35	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,000	△ 2,067
当期変動額合計	428	△ 1,534
当期末残高	23,925	23,497

Corporate Data & Stock Information

会社概要・株式の状況 (平成22年3月31日現在)

会社概要

商号 佐藤商事株式会社
本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラストタワーN館16階
TEL:03-5218-5311
設立 昭和24年2月24日
資本金 13億1,925万円
従業員数 519人
ホームページアドレス <http://www.satoshoji.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数 87,000,000株
発行済株式の総数 21,790,350株
株主数 4,892名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
三神興業株式会社	1,575	7.2
三原不動産株式会社	1,533	7.0
日野自動車株式会社	1,270	5.8
株式会社りそな銀行	554	2.5
住友金属鉱山株式会社	519	2.4
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
いすゞ自動車株式会社	501	2.3
JFEスチール株式会社	500	2.3
山陽特殊製鋼株式会社	499	2.3
NOK株式会社	491	2.3

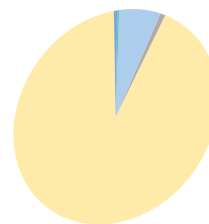
持株比率は自己株式(3,421株)を控除して算出しております。

役員

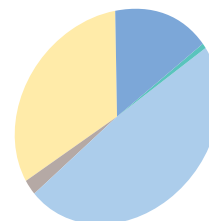
代表取締役社長 村田和夫
専務取締役 渡辺勉
常務取締役 中村順一
常務取締役 永瀬哲郎
取締役 秋元雅行
取締役 小松和夫
取締役 齋藤祐一郎
取締役 音羽正利
取締役 田浦義明
常勤監査役 平山繁幸
監査役 横館寛治
監査役 中神啓四郎

株式分布状況

■所有者別株主分布状況



■所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。但し、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.satoshoji.co.jp/ir/index2.html)
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	株式会社だいこう証券ビジネス
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区日本橋兜町14番9号 株式会社だいこう証券ビジネス 東京支社
(郵送物送付先)	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター
(連絡先)	電話番号 0120-255-100 ホームページアドレス http://www.daiko-sb.co.jp/
株式に関するお手続き	<ol style="list-style-type: none">1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にご相談ください。2. 特別口座に記録された株式に関する各種お申し出・お手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関にご相談ください。3. 未受領の配当金につきましては、株式会社だいこう証券ビジネスにてお取扱いいたします。4. 租税特別措置法の改正により平成21年1月以降お支払いする配当金につきましては、支払配当金額や源泉徴収税額を記載した「支払通知書」を交付することとなり、同封しております「配当金計算書」は、「支払通知書」を兼ねておりますので、確定申告の際に添付資料としてご使用いただけます。ただし、株式数比例配分方式による配当金の受取りを指定された株主様につきましては、「配当金計算書」は「支払通知書」としてご使用いただけませんので、税額等についてはお取引のある証券会社等にお問い合わせください。

佐藤商事株式会社

事業所

本社	〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館16階 TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311
支店	札幌、東北、秋田、山形、新潟、福島、栃木、神奈川、浜松、名古屋、滋賀、大阪、広島、九州、熊本ほか22店
海外	インドネシア駐在員事務所

